

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

| | | | |
|---------------------------|---|--|--------------------|
| 【研究課題名】 | 脳腫瘍に対する分子標的治療薬の感受性試験 ～ テモダール・アバスチン併用療法の効果とバイオマーカーの解析～ | | |
| 1. 研究の目的と方法 | 悪性脳腫瘍に対するテモダール・アバスチンを含めた分子標的治療薬の感受性(薬の効きやすさ)や効果を予測するためのマーカー(指標)を解析することが本研究の目的です。 | | |
| 2. 研究期間 | 倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。 | | |
| 3. 対象となる方等 | 悪性神経膠腫・髄膜腫・転移性脳腫瘍の患者さんで、倫理委員会承認日～2028年3月31日の間に附属病院・柏病院にて腫瘍摘出術を受けた20歳以上の方。 | | |
| 4. 研究に利用する試料・情報について | (1) 試料の種類 | 血液、手術で摘出した標本(通常の検査で余った標本を使用) | |
| | (2) 試料の取得の方法 | 【1】通常検査の採血時の余った血液をいただきます。 【2】手術の時に切除し、通常は廃棄する予定の組織の一部をいただきます。 | |
| | (3) 情報の種類 | 検査結果(血液検査、画像検査) | |
| | (4) 情報の取得の方法 | 診療録から診療時のデータを収集します。 | |
| 5. 研究の実施体制 | あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。 | | |
| | (1) 研究責任者または研究代表者 | 研究機関名 | 東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 |
| | | 氏名 | 田中俊英 |
| | (2) 試料・情報の管理責任者 | (1)の研究責任者と同じ | |
| (3) 共同で研究を実施する機関とその責任者 | 筑波大学脳神経外科 教授 高野晋吾 慶應義塾大学脳神経外科 助教 田村亮太 香川大学脳神経外科 教授 三宅啓介 | | |
| 6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて | この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用のIDや番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法：試料；追跡可能な方法で郵送、 臨床情報；パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付 | | |
| 【問い合わせ先】 | 機関名：東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 研究責任者：准教授 田中 俊英(たなか としひで) 電話番号：附属病院；03-3433-1111(内線3461) 柏病院；04-7164-1111(内線3461) | | |

| | |
|--|----------------------|
| | 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00 |
|--|----------------------|

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。